

【防災安全部】避難訓練と煙体験を行いました。

10月21日、震度6を想定した地震発生に伴い、火災が起こってしまった場合の避難訓練でした。秋晴れの中、(今まで天候の関係で、今年度初の)校庭とピロティでの訓練ができました。栄消防署の方が来校し、ご指導していただきました。火災発生時の119番通報の練習、その後、全校児童生徒の校庭への避難、最後は実際の煙をビニールテントに充満させての煙体験を行いました。地震が起こった時は、廊下ではしゃがんで頭を守ること、机の下にもぐり自分の身を守ることを教えていただきました。火災の時は、鼻と口をおさえて低い姿勢で歩くこと、煙で前が見えないときは壁を触りながら前に進むことなど、大切なポイントを教えていただきました。

コロナ禍ではできなかったため、初めて煙体験に参加した児童も多かったです。煙の多さに驚いており、子どもたちは緊張していたようでした。ハンカチを口に当てて、先生と一緒に手をつないで入ったり、煙体験のテントからしゃがみながら出てきて「がんばったよ。」と笑顔を見せたりしていました。消防署の方の話をもう一度確認し、災害時に慌てず落ち着いて行動できるよう、訓練を積み重ねていきたいと思います。



校庭へ避難をしています。



学部ごとにまとまって座ります。



消防署の方のお話です。



無害な煙を消防署で用意し、煙体験をします。ハンカチで鼻をおおう子、はいつくばって進む子がいます。